

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達障害 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	後期	教室名	401
担 当 教 員	小山 正	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

言語学習過程に関する最近の研究を紹介しながら、言語発達やその評価の観点について知る。本講義では、自閉スペクトラム症や知的発達症、ダウン症等の障害のある子どもの言語・コミュニケーションの問題についても取り上げ、障害のある子どもの言語学習過程について知り、言語発達障害への支援の基本を事例を通して学ぶことができる。

《成績評価の方法と基準》

学期末試験 (100%) によって評価します。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『原語発達』 小山 正 (著) ナカニシヤ出版 2018年

《授業外における学習方法》

- ①授業中に指示したテキストの箇所を読んで復習しておくこと。
- ②小レポート、確認テストを課すことがあるので、授業中に提示した問題について考え、整理しておくこと。
- ③各回資料以外に、まとめのプリントを配布しますので、整理に役立ててください。

《履修に当たっての留意点》

言語発達の過程は複雑です。そのプロセスを理解していくことが、言語発達に障害をもつ子どもへの支援につながります。各回の授業内容は言語発達障害をもつ事例への支援につながります。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	非定型発達について説明できる。	テキスト第1章	テキストの「はじめに」、第1章を予め読んでおく。
	各コマにおける授業予定	自閉スペクトラム症、発達障害について学ぶ。		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	象徴機能について説明できる。	テキスト第1章	テキスト、第1章-2を予め読んでおく。
	各コマにおける授業予定	象徴機能の出現の社会的基盤について学ぶ。		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	言語獲得の基盤について説明できる。	テキスト第1章	テキスト、第1章-5を予め読んでおく。
	各コマにおける授業予定	前言語期の発達と意図的伝達行為について学ぶ。		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	指さし行動の発達の意義について説明できる。	テキスト第2章	テキスト、第2章を予め読んでおく。
	各コマにおける授業予定	指さしの診断的意義や言語学習との関連性について学ぶ。		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	言語学習の認知的基盤について説明できる。	テキスト第3章-1 ~4□ □	テキスト、第3章を予め読んでおく。
	各コマにおける授業予定	この回では、言語学習に関する理論について学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	ダイナミックシステムズの見方が説明できる。	テキスト第3章5～9 □ □	テキスト, 第3章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	言語学習の認知的前提について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	初語期の発達について説明できる。	テキスト第4章	テキスト, 第4章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	原言語や文脈依存的語など, 初語期の発達について学びます。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1語発話期の発達とその支援について説明できる。	テキスト第5章	テキスト, 第5章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	語と対象とのマッピング, 心的状態語などについて学びます。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	空間語彙, 動詞の学習の認知的基盤について説明できる。	テキスト第5章	テキスト, 第5章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	後の読みの発達との関連性について考えます。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	語彙の急増・ボキャブラリースパートについて説明できる。	テキスト第6章	テキスト, 第6章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	なぜ, ボキャブラリースパートが起こるのか, その点について理解を深めます。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	シンタクスの出現とセンテンスの発達について説明できる。	テキスト第7章	テキスト, 第7章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	2語発話期から多語発話期の発達について理解を深めます。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	初期言語学習過程における個人差について説明できる。	テキスト第8章	テキスト, 第8章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	言語学習過程における個人差と多様性について学びます。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	他者理解の発達と言語学習の関連性について説明できる。	テキスト第9章	テキスト, 第9章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	発達障害の事例における心の理論や他者理解の発達と言語学習との関連性について学びます。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	保護者支援の基本について説明できる。	テキスト第1章	テキスト, 第1章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	親の心情を理解することや障害受容のプロセスについて学びます。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語と思考との関係について説明できる。	テキスト第10章	テキスト, 第10章を予め読んでおく。
		各コマにおける授業予定	言語発達障害について整理し, 後の読み書きの発達とその支援の基本との関連性に関しても整理します。		